

金子地区センターだより

令和8年8月1日号 編集・発行：金子地区センター
金子地区センター担当

公民館窓口 2936-1171 Fax 2936-4753
住民事務窓口 2936-0111 Fax 2936-2702
<https://www.facebook.com/city.iruma.kanekokouminkan/>
Eメールアドレス:ir211035@city.iruma.lg.jp
休館日:11日



金子地区センターからのお知らせ

ふれあい納涼金子商工まつり

日時 8月22日(土) 午後3時～8時30分 小雨決行
会場 金子小学校 校庭
出し物 【模擬店】 やきとり、かき氷、わた菓子、フランクフルト、やきそば ほか
【舞台】 キッズダンス、フラダンス、みんなで踊ろう盆踊り(5時50分から)
主催 入間市商工会金子支部
※みんなで踊ろう盆踊り 事前練習会 8月18日(火)午前10時～11時ごろまで
金子地区センター2階 洋室 AB (事前申込不要です。直接会場にお越しください。)



図書館 金子分館からのお知らせ

夏休み子ども映画会



日時 8月29日(土) 午後2時～3時30分
場所 金子地区センター 大会議室
内容 ディズニーアニメーション映画「ダンボ」を上映します。
対象 幼児～小学生(未就学児は保護者同伴) 定員 先着55名
申込 8月9日(日) 午前9時から図書館金子分館のカウンターおよび電話(2936-1811)で受付開始します。



地域振興課からのお知らせ

たくさんの方からのご意見をお待ちしています！

「旧市民会館に代わる施設の建設に向けたアンケート調査」ご協力のお願い

入間市では、旧市民会館に代わる新しい施設について、入間市駅南口に隣接した土地(ジョンソン基地跡地留保地)を最適な候補地として建設することを検討しています。市民の皆さまが文化や芸術に親しみ、学び、集い、交流できる施設を目指し、新しい施設に期待する役割や機能、必要な設備などについてご意見をお伺いします。

- 調査期間:7月1日(水)から8月31日(月)まで
- 調査対象:入間市内在住、在勤または在学の方、市内来訪者など(制限なし)
- 調査方法:Web 回答(右記 QR コードを読み取り、ご回答ください)



【お問い合わせ】

▲ 回答はこちらから

入間市役所 地域振興課 文化交流担当 電話 04-2964-1111(代表)／内線 2145～2147

市民安全課からのお知らせ

入間市消防団では、出勤状況や消防団活動の様子をホームページで公開していますので、ぜひご覧ください！

★ 出勤してます！入間市消防団！★



はじめて「レベル3大雨警報」が発表された台風6号。
入間市消防団では前日2日より警戒箇所の点検を行い、
3日の未明より地区の警戒に出勤しました。
まちの安全のため、今日もがんばります！



詳しくは...〈市消防団 HP〉

この地区センターだよりは各自治会役員の方々のご協力により配布されています



健診結果まるわかり相談会

健診結果の見方や気になる項目について、保健師や管理栄養士が個別で相談をお受けします。あなたに合った生活習慣の改善方法もお伝えします。

日 時: **8月21日(金)** 午前9時30分から【1人30分枠※要予約制】

場 所: 金子地区センター 2階 洋室 AB

対 象: 市内在住

持ち物: 健診結果、筆記用具

予約: 地域保健課 04-2966-5513

血圧を測ってみましょう

減塩ってどうやって?



入間市在宅医療支援センターからのお知らせ

「医師による人生会議講座」

人生会議(ACP「A:アドバンス・C:ケア・P:プランニング」)とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことをいいます。地域の医師が人生会議についてお話しします。あなたと大切な人たちのために、人生会議について一緒に考えてみませんか。

日 時 8月31日(月) 午後1時30分～2時30分

会 場 金子地区センター 1階 大会議室

講 師 入間けやきクリニック 東 一成 先生

対 象 どなたでも

申 込 入間市在宅医療支援センターへ電話(2966-3201) FAX(2966-3203)



情報政策課からのお知らせ

公共施設予約システムのロビー端末撤去のお知らせ

来年度から公共施設予約システムが変更になることに伴い、地区センターに設置しているロビー端末を8月中に撤去いたします。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、入間市役所情報政策課までお問い合わせください。

【問合せ】入間市役所 情報政策課 04-2964-1111 内線4315

困ったら、一人で抱え込まず、まずはご相談ください！

包括的な支援体制の整備を進めています。

80代の親が50代のひきこもりの子どもを支える「8050問題」



育児と介護の「ダブルケア」



本来は大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行う「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたち



地区センター等の相談窓口でお聞きした、複雑でいくつもの原因が絡み合うお悩みには、関係機関がチームとなってサポートします。また、自ら相談に来られない方や支援が届いていない方にも手が届くよう、地域のみなさんと一緒に見守り、寄り添っていきます。

相談窓口など
詳細はこちら
➡

